

令和5年度隊友会東播支部さつま芋収穫祭

東播支部（支部長 石田真一）は、令和5年10月21日9時から、会員及び会員家族（総勢25名）で、兵庫県加東市滝野の滝野体育センター前休耕田においてサツマイモの収穫祭を行いました。

支部は、陸上自衛隊青野原駐屯地の曹友会長を介して、毎年、隊員・家族にも参加を呼び掛け、隊友会会員と隊員・家族のふれあいの場として、収穫祭を行っています。今年も、19家族61名の参加があり、好天に恵まれた絶好の収穫日和の中、和気あいあいと収穫を楽しんでいただくことができました。



石田支部長による開会の挨拶



隊員家族によるさつま芋掘りの様子

今年の収穫場所は、草ぼうぼうの荒地であったところを開墾したため、植付までの準備や草取りなどで、大変な苦勞がありました。しかし、いざ収穫してみると、かなり大きな芋に成長しており、サツマイモを手にした子供達は大喜びでした。450本の収穫を約1時間30分程度で行い、人数分に振り分けましたが、持ち帰りの準備にも時間が掛かるほど、大量に収穫することが出来ました。また、昨年同様、里芋の収穫も行い、皆さんに持ち帰って頂くことができました。

今年は、収穫を始めた直後に別件で滝野体育センターに来られた「衆議院議員 藤井ひさゆき議員、が立ち寄られて、隊友会と隊員・家族に声を掛けてくれました。

解散前に、「来年も同様に収穫祭を計画すること、最近の自衛官は訓練状況が過密になっていることから、臆することなく家族のみでの参加も検討して頂き、隊友会会員との交流を深めて頂きたい」と要し、全員の記念撮影を行った後、解散となりました。



さつま芋の収穫を終えて参加者一同による記念撮影

この、収穫祭の成功の裏には石田支部長をはじめ、休耕田近傍の役員と会員のご尽力の上に成り立っていることに対し、心から感謝します。

我が東播支部の役員及び会員は、いかに現職隊員の心の支えとなる活動ができるのか、今後家族会との連携の図り、家族支援の在り方を含めて志を一つにして更に絆を深めていきたいと考えています。

実は・・・、さつま芋が危ない時期がありました。



さつま芋が枯れる寸前



さつま芋が見事に復活